

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	地域による学校支援事業			会計	款	項目	大事	小事	
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	01	10	01	04	02	62
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実			主管課長				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内小中学校児童生徒、地域住民	意図	地域による協働の取組で教育力の向上を図る。
事業内容	北部中学校に学校支援地域本部を設置し、配置したコーディネーター3名が、北部中学校区の学校（新川小学校、江戸川台小学校、北部中学校）とボランティアを希望する地域住民との調整を図りながら、学校支援ボランティアを派遣する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年度まで、国庫100%の委託事業として、学校支援地域本部事業を行っていたが、23年度より間接補助事業となったため学校支援事業として継続実施している。年間延べ1965名のボランティアにより、教育活動への支援が行われている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 市内中学校区	1	1	1	校	↑↑↑	
	②						
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	新本部開設へ向け、準備を進めることができた。					目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 現在、1本部が設置されているが、地域をよく知るコーディネーターの活躍により、良好に運営されている。この取り組みを他の地域にも知らせ、推進を図っていきたい。	
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		859,219	637,331	536,848			
事業費(b)(円)		859,219	637,331	536,848			
うち一般財源		801,419	213,331	182,848			
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	学校運営に地域の教育力を生かす取組の推進を図る。	③取り組みの課題	北部中学校区での取組の成果を市内の他の地域に生かす必要がある。
②今年度(H26)に実施した取り組み	北部中学校区で学校支援地域本部事業を実施した。	④今後の改善計画	北部中学校区での取組の成果を市内の他の地域に広げるため、新本部を開設する。